

農業経営者の皆様へ！

自然災害に備えて 農業版BCPを作成してみよう！

BCP（事業継続計画）とは、自然災害などの緊急事態が発生した場合、人員、電気、水、資金等が足りなくなることが想定される中で、どの仕事を優先して続けるか、どうやって再開するか、ということをおらかじめ決めておく計画のことです。

BCPは決して難しいものではなく、経験として既に備わっていることも少なくありません。計画として文字に落とし込むことで、従業員との共有や、普段の経営の見直し・改善にも繋がります。

農林水産省では、自然災害等のリスクに備えるためのチェックリストを作成しています。チェックリストには「リスクマネジメント」と「事業継続」の2種類のシートがあり「事業継続」の項目ごとに必要な内容を記載すると、ご自身で簡易的な農業版BCPが作成できます。



① 日頃からのリスクへの備え、台風等襲来の際の直前対策のために！

○チェックリスト「リスクマネジメント」

自然災害等のリスクに対して、防災・減災の観点から備えておくべき項目についてチェックします。

(項目の例)

- ❑ 災害時の停電に備え、非常用電源などを確保していますか？
- ❑ トラクターやコンバイン等の農業機械を高台や屋内へ移動させましたか？

リスクマネジメント		自然災害等のリスクに備えるためのチェックリスト			詳細
事業名					
チェック実施日					
分類	項目	質問内容	YES	NO	対応策/備考
リスクの把握	1	自身の経営活動における、自然災害、その他のリスク（新型コロナウイルス感染症等）とその事業について考えられていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	※101-※103
	2	自身の地域の自然災害リスクについてハザードマップを確認したことはありますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	※101-※103
	3	新型コロナウイルス感染症について、「農業者等に対する新型コロナウイルス感染症発生時の対応」及び「事業継続」に関する基本的なガイドライン等のガイドラインを確認したことはありますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	※101-※103
リスクの軽減	1	地方自治体等を通じて発信される気象情報や防災情報を確認していますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	※101-※103
	2	農機具の災害対策・備付方法等について、「農業技術の基本設計」等のマニュアルの参照、研修の受講などを実施し知識を身に付けていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	※101-※103
	3	災害時の停電に備え、非常用電源などを確保していますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	※101-※103
予防	4	非常用電源等の設置・設備の保守点検、また個人に備蓄や補給等の取組を実施していますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	※101-※103
	5	農具・農機具の保守点検、また個人に備蓄や補給等の取組を実施していますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	※101-※103

② 被災後の復旧・事業継続のために！

○チェックリスト「事業継続」

被災後の事業継続の観点から、ヒト・モノ・カネ・セーフティーネット等、事前に想定しておくべき事項についてチェックします。

(項目の例)

- ❑ 収入保険の補償内容を理解するとともに加入していますか？

事業継続		自然災害等のリスクに備えるためのチェックリスト			詳細
事業名					
チェック実施日					
分類	項目	質問内容	YES	NO	対応策/備考
基本方針の策定	1	災害発生時の基本方針を定めていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	※101-※103
	2	災害発生時において一斉発令して復旧を行う業務（重要業務）は決まっていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	※101-※103
重要業務の把握	3	重要業務の把握の経路を確認していますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	※101-※103
	4	電気・水道（農業用水含む）、ガスに支障が生じた場合に、農業業務への影響とその対応（代替手段）を想定していますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	※101-※103
	5	PCや電話等が使えなくなった場合に、農業業務への影響とその対応（代替手段）を想定していますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	※101-※103
復旧と事業継続	6	道路、交通網に支障が生じた場合に、農業業務への影響とその対応（代替手段）を想定していますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	※101-※103
	7	情報などが不足しなくなった場合や家族・関係者、雇用者などが帰省等に支障が生じた場合などに、農業業務への影響とその対応（代替手段）を想定していますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	※101-※103
	8	従業員、トラクターやコンバイン等の農機具、備蓄品、農業機械が被害等により使用できなくなった場合に、農業業務への影響とその対応（代替手段）は想定していますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	※101-※103
収入保険	9	収入保険に加入している場合は、農業業務への影響とその対応（代替手段）は想定していますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	※101-※103
	10	復旧に費用が発生し再金繰りが過剰な場合に、農業業務への影響とその対応（代替手段）は想定していますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	※101-※103

○農業版BCP（事業継続計画）

チェックリストの各チェック項目に、ご自身の経営に合わせた具体的な内容を当てはめると、農業版BCPが作成されます。

(農林水産省ホームページに掲載しているEXCEL版のチェックリストを活用すると作成がスムーズです。)

農業版事業継続計画書		作成日	作成者	作成場所
1. 基本方針				
1-1. 事業の目的・使命				
1-2. 事業の理念				
1-3. 事業のビジョン				
1-4. 事業の目標				
1-5. 事業の戦略				
1-6. 事業のリスク				
1-7. 事業の強み				
1-8. 事業の弱み				
1-9. 事業の機会				
1-10. 事業の脅威				
2. 重要業務と重要顧客				
2-1. 重要業務の把握				
2-2. 重要顧客の把握				
3. インフラ等の被害による農業業務への影響と対応(代替手段)				
項目	被害想定	影響	対応(代替手段)	
電気				
水道				
ガス				
道路				
交通網				
情報				
その他				
4. 復旧と事業継続				
項目	復旧計画	事業継続計画		
ヒト				
モノ				
カネ				



③ 定期的・継続的な見直し

農業版BCPを上手く機能させるため、少なくとも年に1回は見直しを行い、備えが十分か確認しましょう。

農業版BCPを作成してみよう！

農業版事業継続計画書

簡易版

策定・改定日

従業員・家族共有日
(原則策定・改定日から1ヶ月以内)

次回改訂予定日
(原則1年毎に改訂)

1. 基本方針 (「人命を守る」「農産物の供給責任を果たす」等、緊急時にあなたが最も優先することは何ですか?)

緊急事態発生時には、以下の基本方針に則り対応する。

1
2
3

2. 重要業務と目標復旧時間 (「水やり」「搾乳」等、いち早く復旧しなければいけないことは何ですか?)

以下の業務の復旧を最優先とし、目標復旧時間内の復旧を目指す。

重要業務
目標復旧時間

3. インフラ等の被害による重要業務への影響と対応(代替手段等) (インフラが止まったときに対応できますか?)

種別	影響	対応(代替手段等)
電気		
ガス		
水道(農業用水含む)		
情報通信		
交通		
ほ場等		
その他		

4. 事前対策の実施状況 (自然災害に備えて、普段からどんな対策ができますか?)

分類	項目	
ヒト	安否確認手段	連絡体制
	避難場所	
	欠員時の対応	
	その他	
モノ	設備使用不可時の対応	
	調達支障時の対応	
	その他	
カネ	手元資金	
	その他	備考
セーフティネット	保険加入	
	その他	備考
情報	重要情報保管場所	
	PC等使用不可時の対応	
	その他	
地域連携		

5. 緊急時の体制

統括責任者(代理人) 事業継続担当責任者(代理人)

【初動対応フェーズ】(目安:緊急事態発生～24時間以内)

○状況確認

確認対象	担当者
役員・従業員 家族を含めた安否確認	
建物・設備 ITを含む状況	
その他事業資源 肥料・飼料・農薬等の在庫	
取引先 状況確認	
インフラ 電気・ガス・水道・交通等の状況	
その他	

○備蓄品の状況

救急箱	その他:
飲料水	その他:
食料	その他:
ヘルメット	その他:

○出勤・帰宅ルール

状況	原則ルール
出勤時	
在宅時	
その他	

【事業継続フェーズ】(目安:初動対応完了後～)

○重要業務継続の具体的方法 (誰がどのように行うか細かく決めておきましょう。)

対応手順	担当者

BCP策定後の運用

日頃から緊急時における対応を家族や雇用者と話し合ったり、実際に訓練を行っておくことが重要であり、そうすることで緊急時における各人の行動が明確になり、復旧までの時間を短縮できます。また、「1年に1回は見直す」「策定したら1ヶ月以内に皆で確認する」などルールを決めて、運用を心掛けることが重要です。

